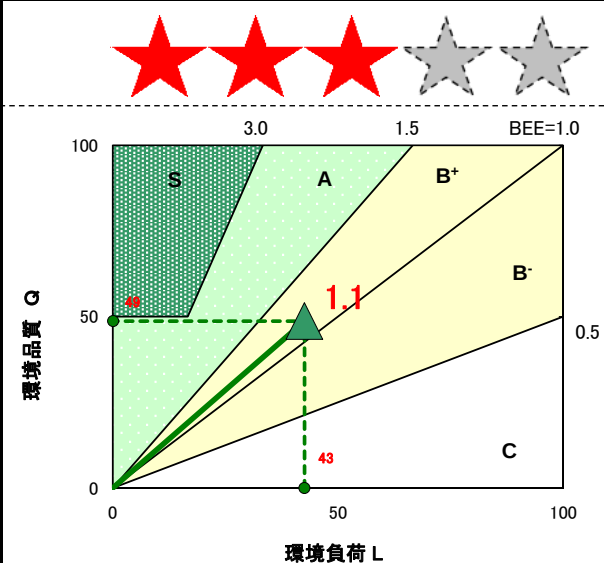


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	崇城大学空港キャンパス学生寮	階数	地上4階、地下0階		
建設地	熊本県菊池郡菊陽町大字戸次字西	構造	RC造		
用途地域等	市街化調整区域	平均居住人員	100 人		
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工時期	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年4月11日		
敷地面積	59,574 m ²	作成者	ライト設計		
建築面積	10,600 m ²	確認日	2024年7月1日		
延床面積	3,545 m ²	確認者	ライト設計		

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.1

$$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

100%

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

重点事項総合評価			評価点
			75

評価点

■ 熊本県重点評価基準

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

79.6

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

67.5

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

82.5

【重点事項4】 循環型社会の実現

67.4

判定値(評価点)

ランク表示

100点以上



80点以上100点未満



60点以上80点未満



40点以上60点未満

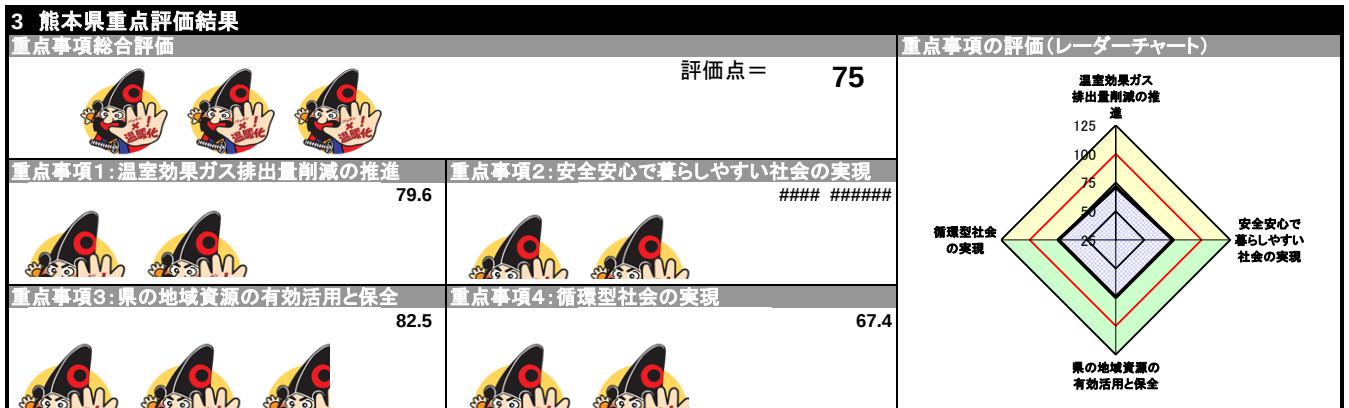
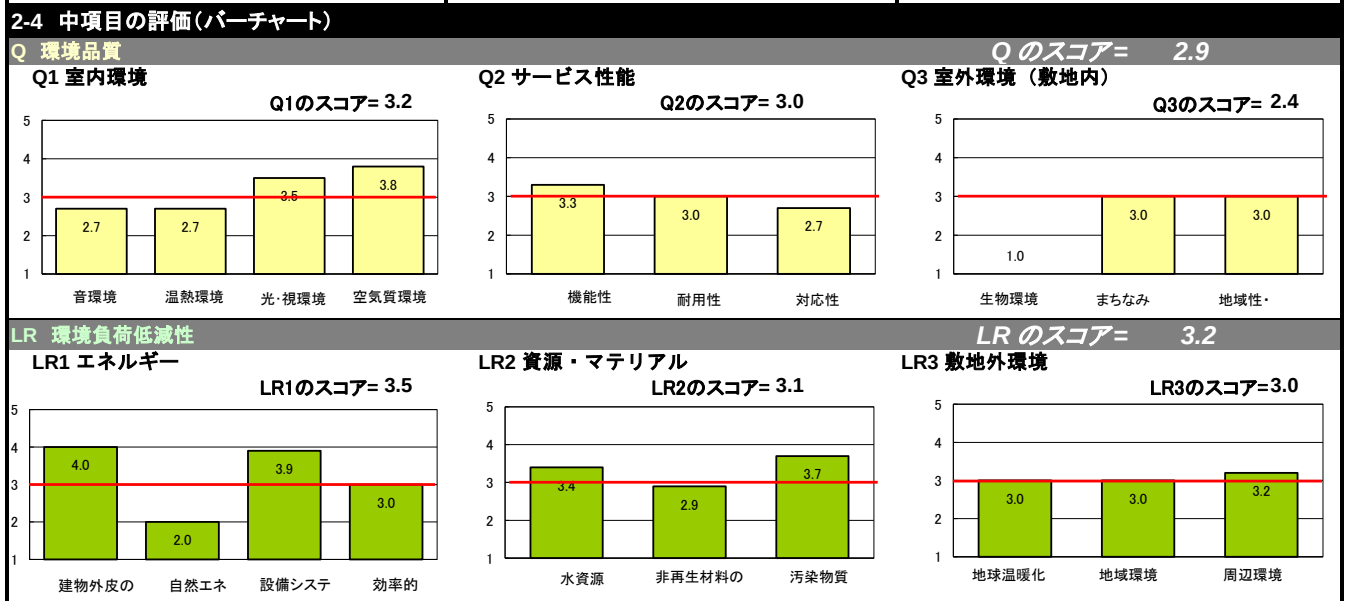
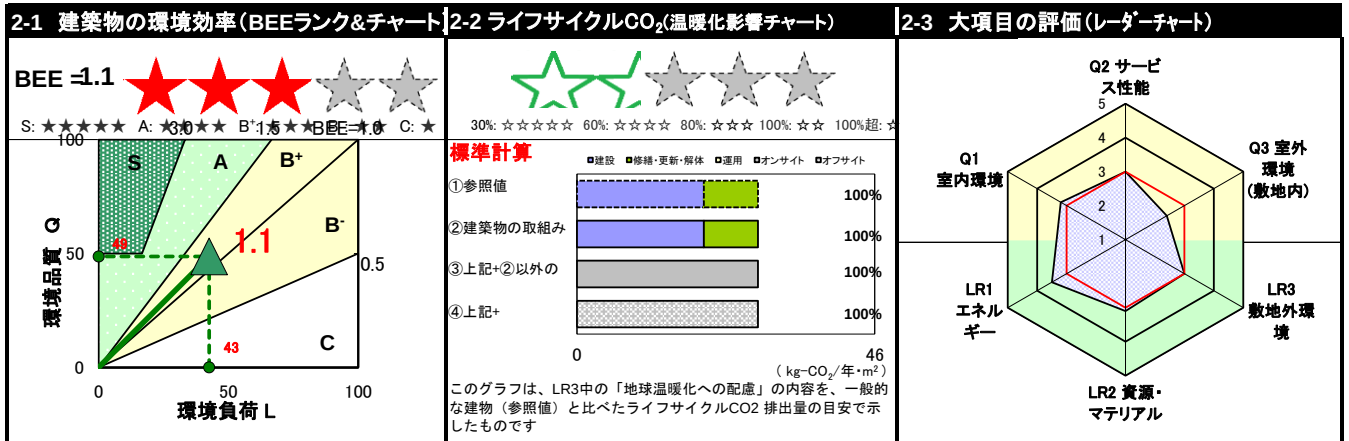


40点未満



※評価点は、100点以上が推奨です。

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	崇城大学空港キャンパス学生寮	階数	地上4階、地下0階
建設地	熊本県菊池郡菊陽町大字戸次字西	構造	RC造
用途地域等	市街化調整区域	平均居住人員	100人
省エネ・地域区分	6地域	年間使用時間	5,475時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年4月11日
敷地面積	59,574 m ²	作成者	ライト設計
建築面積	10,600 m ²	確認日	2024年7月1日
延床面積	3,545 m ²	確認者	ライト設計



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.9	
Q1 室内環境					0.40		-	3.2	
1 音環境				3.0	0.15	2.3	1.00	2.7	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音				3.0	0.50	1.6	0.50		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音				-	-	-	-		
2 温熱環境				2.6	0.35	3.1	1.00	2.7	
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.3	0.50		
1 室温				3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能		【共用部】壁U=0.687 窓SC=0.13、窓U=4.07 【住居部】等級4相当		3.0	0.38	4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.6	0.25	3.4	1.00	3.5	
3.1 昼光利用				4.2	0.30	3.4	0.30		
1 昼光率		【共用部】学習室・談話室:6.02% 【住居部】寮室:5.07%		5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		【共用部】底(バルコニー)+ブラインド 【住居部】底(バルコニー)+カーテン		4.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				4.0	0.25	3.6	1.00	3.8	
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		【共通】建築基準法を満たし、F☆☆☆☆建材の採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				4.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		【共通】汚染源のない方位、各種排気口と異なる方位、3m以上離れている		5.0	0.50	5.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0	
1 機能性				3.6	0.40	2.8	1.00	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.0	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	2.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	4.0	0.40		
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画		【共通】・コンセプトの設定・機能の明確化・照明計画と内装計画の一体化・事前検証の実施(住居部のみ)		4.0	1.00	5.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		②防汚性の高い建材 ③水を利用して洗浄可能(コンクリート金網下地2重床) ⑥維持管理方法が大きく異なる床材の接近なし ⑦フッ素塗装塗り(防汚性) ⑧水切りの設置 ⑩防錆対策		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		【建築物衛生法における特定建築物ではない】 ①清掃用資材の保管(1F収納庫) ⑤散水栓の設置 ⑥清掃作業を想定した電源 レイアウトの設計 ⑦高所の維持管理が安全に行える(バルコニー設置) ⑨⑩MB		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用しEは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.6	0.30	3.2	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			階高:3.05m≧3.0m	-	-	3.4	0.50	
	1	階高のゆとり		-	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	-		-	1.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり		-		-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性		2.6		1.00	-	-		
1	空調配管の更新性	3.0		0.20	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-			
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-			
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-			
5	設備機器の更新性	1.0	0.20	-	-			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	II 3)ベンチ設置 II 4)学習室 III 5)中庭設置 IV 6)夜間照明の設置		4.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			等級4相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.91	3.9	0.50	-	-	3.9
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水コマ使用+節水型便器		4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材の分別が容易(コンクリート+PB) 再利用できる部材の採用(鋼製下地) UB	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-		
	1	消火剤	-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP1 (難燃ウレタン吹付A種1H、押出法ポリスチレンフォーム3種bA=30)	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-		

3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害対策ガイドライン過半を満たす ・広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合		道路面からの圧迫感に配慮し、道路から建物の距離を出来るだけ確保できる位置に計画した。建物間に吹抜けを設けることで通風及び最高を確保する計画とした。
Q1 室内環境		・F☆☆☆☆建材を使用。 ・自然光を取り入れ、日中の照明不可を軽減。 ・窓ガラスにLow-E複層ガラスを採用することで、室内環境を向上させる。
Q2 サービス性能		・設備系統はメンテナンスに配慮し、ピットを設ける計画とした。 ・各居室の近くにPSを設けることで、メンテナンス性を向上させる。
Q3 室外環境 (敷地内)		・外部に樹木を設け、休憩スペースとして計画した。 ・建物周囲には防犯性に配慮し、監視カメラを設置する計画とした。
LR1 エネルギー		・窓ガラスにはLow-E複層ガラスを採用し、温熱環境に配慮した。 ・バルコニーの奥行きを確保するとともに、西面は遮光ルーバーを設け、直射日光に配慮した。
LR2 資源・マテリアル		・各種設備機器は高効率機器を採用する。 ・熱橋部分には断熱材吹付を行い、温熱環境に配慮した。
LR3 敷地外環境		・学生が使用する駐輪場を新設寮付近に配置した。 ・建物は敷地境界及び既存建物から離れた位置に配置し、周辺環境に配慮する。
その他		

熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要		実施設計段階
建物名称	崇城大学空港キャンパス学生寮	

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				79.6	0.40	31.84
Q1-2.1.2	外皮性能	3.3	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	4.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	2.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.9	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				67.5	0.20	13.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				67.4	0.20	13.48
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数